

会 議 要 旨

会 議 名 (審 議 会 等)	第 2 回南あわじ市文化財保護審議会 (門崎砲台跡の保存・活用)
事 務 局 (担 当 課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 2 2 日 (木) 1 5 時 2 5 分 ~ 1 6 時 3 0 分
開 催 場 所	南あわじ市役所第 2 別館第 5 会議室
出席者	委 員 堀部るみ子、竹田俊道、正井良徳、小野昌一、岡崎正信、前田拓也、関口功、木田徹、吉田文洋、唐澤靖彦、坂井尚登、飛田俊紀、赤穂秀樹
	事 務 局 福田龍八 (教育次長) 山家光泰 (社会教育課長) 眞野匡史 (社会教育課副課長) 山崎裕司 (埋蔵文化財事務所調査員)
議 事	(1) 本砲台の部分的復元について
議 事 要 旨	別紙のとおり

第2回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

○ 議 事

(1) 本砲台の部分的復元について

本砲台の復元候補地を視察してもらった上で議論を行った。

【候補地①うずまちテラス展望台付近】

- ・海が見え、見晴らしも良い。観光施設もあり、砲台だけを設置するよりは意味があると思う。
- ・他にも良いところがあると思われる。
- ・来訪者もある場所であり、眺望の点から考えても良いと考える。
- ・鳴門要塞という全体の構造を踏まえて考えると、もともと笹山砲台があり、下れば行者ヶ岳や弾薬庫もあるので、鳴門要塞全体の理解を資するという点では良いのではないかと思う。

【候補地②うずまちテラス第2駐車場】

- ・目立たないところに移設しても何があるのか分からないのであまり賛成できない。
- ・臨時委員以外の専門家の意見に、「砲台だけ残しても観光の目玉にならない現場近くに残していても人は絶対に来ない。」とあり、大きく同感できる。
- ・そもそも門崎付近に限定される必要があるのか。
- ・費用的に切り出したピースを全て使用し復元するのは難しい。
- ・計測したデータを基にFRPで復元するのであれば費用的にも安くできる。
- ・遺構自体は現在そのまま保存しておけばまた何かにかける機会が来ると思う。
- ・駐車場の増設は環境省もなかなか許可は出してくれないであろう。

【候補地③一部保存仮置場】

- ・ここは無いと思う。厳しいものがある。

【候補地④岬先端の県有地】

- ・車が止められやすいところでないとなら発展性はない。
- ・県有地であるため市が買い取らなければならない可能性がある。
- ・観光客が増えた場合、駐車台数が足りるのか。足りなければ徒歩で来てもらうことになる。
- ・切り出したものを運ぶのは無理なのではないか。FRPならば考えられるかもしれない。

【上記以外の候補地】

- ・丸山漁港にある、「海の展望広場」に移設するのはどうか。敷地が広く、眺望も良く、観光施設もあり、釣りやサイクリングの観光客も多い。建設費用も負担軽減となると考えられるため、このような案も良いと思う。
- ・「大鳴門橋記念館」も観光客に見てもらえるという意味で移設先の候補に入れて良いのではないか。
- ・うずま치의テラスの第2駐車場より下（行者ヶ岳の6射砲辺り）はどうか。遊歩道の整備やピジターセンターの設置を行い、砲台だけでなく鳴門要塞全体を有効活用してはどうか。

南あわじ市文化財保護審議会 次第

日時 令和6年2月22日(木)
午後2時00分より

場所 福良地区内4か所
南あわじ市役所第2別館
第5会議室

1. 視 察

門崎砲台復元候補地4か所視察

視察終了後、南あわじ市役所第2別館第5会議室に移動

↓

2. 開 会

3. 報 告

(1) 令和6年度砲台跡活用事業の実施について

(2) 本砲台付近の空洞の発見について

4. 議 事

(1) 本砲台の部分的復元について

5. 閉 会

(1)本砲台の部分的復元について

場所、サイズ感、費用面、文化財・観光資源としての活用方法などを総合的に検討していく必要がある。今回、候補地①～④について検証を行う。

候補地① うずまちテラス展望台付近



・環境が良く見晴らしも良い

(×E)

候補地② うずまちテラス第2駐車場



・広さは十分だが、海が見えない

(×E)

候補地③ 一部保存仮置場



- ・駐車場がなく、大鳴門橋が見えない
- ・前方の山を削れば海は見えるが、莫大な費用がかかる
- ・砲台を支える地面強度に問題はないか

(メモ)

候補地④ 岬先端の県有地



- ・元にあった場所に近く、海も見える
- ・市有地でなく県有地である
- ・工法的に極めて難しい場所である
- ・車両や大型重機が入らず運搬の危険性も高い
- ・サイクリングロードの工事と重なるため、現実的に難しい

(メモ)

専門家の意見

○ 保存・復元

【場所について】

- ・ 門崎の特徴は、海浜に面しているところであるから、海も見えないところで何故これだけのものを作る必要があったのかとなってしまうため、海のすぐ前か海が見える場所が望ましい。
- ・ 復元するにあたっては、門崎からなるべく離れない方が良いと思う。鳴門海峡が見えないところに置いても意味がないように思う。
- ・ 砲台のある道の駅は日本中どこにもないため、オリジナリティを活かして集客することができる。
- ・ 砲台だけ残しても観光の目玉にならない。また、現場近くに残しておいても人は絶対に来ない。
- ・ うずまちテラスは景色がいいだけで何も無い。だんだん人は減ってくるであろう。
- ・ 観光面で考えるとみさき荘に場所があればよいと思う。
- ・ 費用対効果がつきまとうので、何もかもというわけにはいかないが、鳴門要塞は規模が小さく門崎も一定の圏内であるため、参観ルートは整理しやすく作りやすいと思う。
- ・ 町なかに保存しても意味がないので、うずまちテラスの第二駐車場に移設するなど行者ヶ嶽砲台跡との関連付けをしてはどうか。

- ・ 若人の広場に持っていくという案はない。
- ・ 戦争の平和教育として若人の広場に保管するのはどうか。

【復元について】

- ・ コンクリートを継ぎ足し、層で積み上げていく方法といった、当時の伝統技術が理解できるような展示方法は意味がある。
- ・ 復元する場合、半分は鉄筋コンクリート、半分はレンガという方が砲台自体の歴史が分かる。門崎砲台の変遷がわかる形が望ましい。
- ・ 復元なのかレプリカを作るにしてもあまり費用をかけてするものではないと思う。
- ・ 復元には相当な費用がかかると思うが、この遺構は類例のないものであり、保存することは非常に意味があり、それだけの価値はある。
- ・ 今切り取った遺構を組み立てて、門崎にもってくるのが理想だがいろんな条件で難しいと思われるため、極力大きいレプリカをFRPで作ればそんなにお金はかからないと思う。
- ・ 形として立派なものが残っているので観光に使うのもよいと思う。



候補地①

候補地③

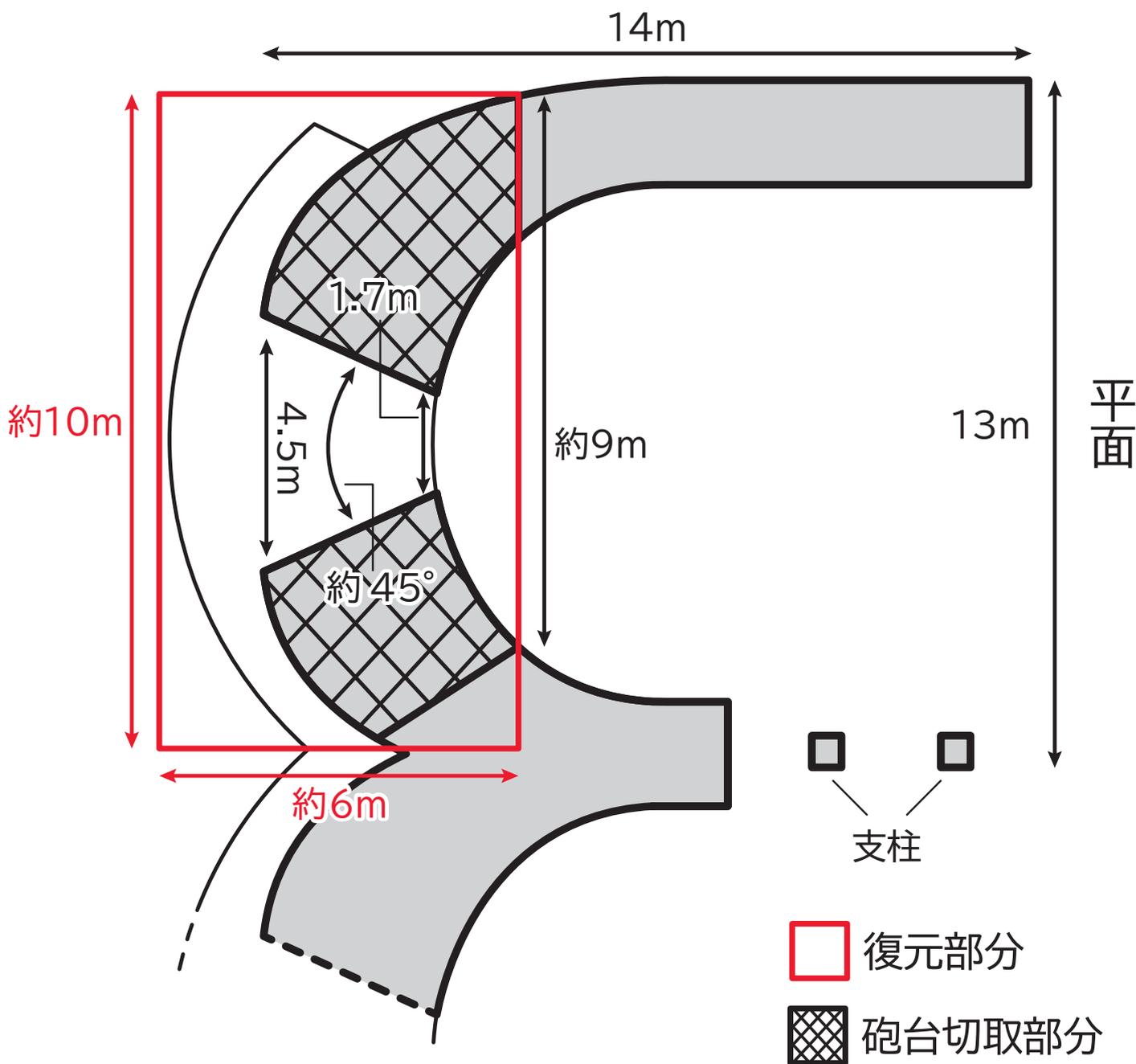
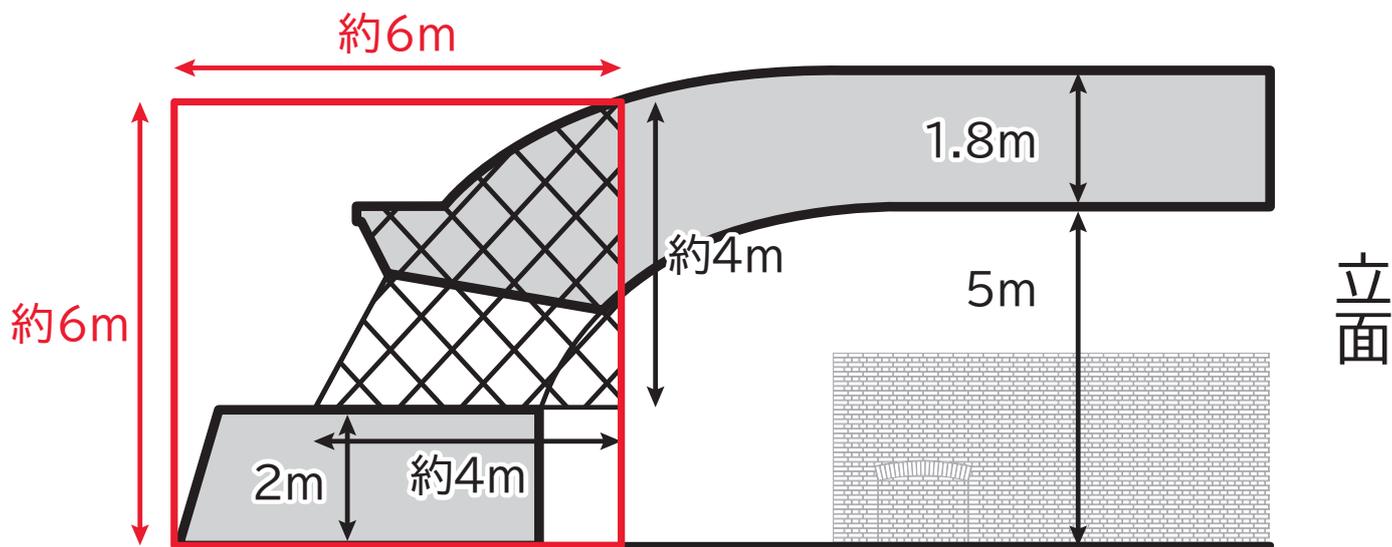
候補地②

門崎砲台跡

候補地④

3-1
みさき荘建替

3-4
阿那賀50号線改良



(参考資料)

環境省 神戸自然保護官事務所の意見

現時点では、特に建屋の想定はせず、砲台跡を屋外に設置するものとして回答させていただきます。

なお、風致保護上の支障と現在の利用状況への支障から意見をつけていますが、今後、新たな改変が想定されない候補地③以外については、公園事業の一部として砲台を活用する場合、利用者の立場から見て、現在の施設等の利便性が低下しないように検討して説明して頂ければ、3案とも認めうるのではないかという感触です。

【候補地① うずまちテラス展望台付近】

風致保護上の支障は限られるものの、現在の展望地利用への支障が懸念されることから、当該地への移設にあたっては、慎重に判断されたい。

【候補地② うずまちテラス第2駐車場】

風致保護上の支障は限られるものの、既に渋滞が高頻度で発生しているエリアであり、移設により現在の駐車場利用への支障が懸念されることから、当該地への移設にあたっては、慎重に判断されたい。

なお、今回の移設により既設の駐車場台数を減らした場合、当該地周辺で駐車場を新設するにあたっては、その必要性については容易には認められないことをご留意いただきたい。

【候補地③ 一部保存仮置場】

移設による土地の形状変更が想定されることから、風致保護上の支障は4案の中で一番大きい。

また、駐車場数も十分確保できるか不明であることから、新たな渋滞の発生が懸念され、慎重に判断されたい。

【候補地④ 岬先端の県有地】

風致保護上の支障及び現在の利用形態への新たな支障は想定されない。現在は道の駅周辺に集中している園地内の利用について、その分散にも資すると考えられる。

なお、本案を選定するにあたっては、現執行者である兵庫県との調整に留意されたい。